

カリキュラムポリシー

教育課程編成・実施の方針（大学院 研究科）

花園大学大学院は、修了認定・学位授与に関する方針を到達目標とする教育課程（カリキュラム）を編成する。教育課程における教育内容については、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習などを適切に組み合わせた授業を開講する。花園大学大学院における教育方法・学修過程については、以下のように定める。

（１）「自立・自律・主体性」（D P 1）と教育方法・学修過程

より優れた見方・考え方の獲得を目指して学び続け、自立性と自律性を持って主体的に研究を行うことができるよう、大学院生一人一人の理解度等を考慮した、きめ細かい個別の研究指導を行う。

（２）「知識・理解」（D P 2）、「技能・表現」（D P 4）と教育方法・学修過程

研究科・専攻の専門分野に関する高度な専門的知識を体系的に修得するための科目とともに、各領域における研究の現状や課題の正確な把握を目指した科目や、高度な専門性を必要とする職業に従事するための能力を身につけるための科目を開講する。研究遂行の基礎となる文献・資料を読解するために必要な語学能力と、研究成果を発信するために必要なレベルの語学能力を身につけるための科目を開講する。他者の思いや考えを正確に理解するとともに、自らの思いや考えを的確に表現して意見を交わしたりすることができるようになるため、能動的な学修方法を取り入れることに努める。

（３）「思考・判断」（D P 3）、「態度・志向」（D P 5）と教育方法・学修過程

研究科・専攻の専門分野において、情報や知識を論理的に分析して表現したり、問題・課題を発見して、その解決に必要な情報を収集・分析したりできる思考力や判断力を身に付けるための演習科目を開講する。他者の立場や利益を慮る「利他の精神」を養成し、社会の一員としての意識を持って、高度な専門性を必要とする職業人として、社会のために積極的に関与し、社会に貢献することができるよう研究指導を行う。専門家としての強い責任感と倫理性をもって研究を遂行できるよう研究指導を行う。

教育課程編成・実施の方針（大学院 研究科）

文学研究科

文学研究科は、修了認定・学位授与に関する方針を到達目標とする教育課程を編成する。教育課程における教育内容については、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習などを適切に組み合わせた授業を開講する。文学研究科における教育方法・学修過程については、以下のように定める。

(1) 「自立・自律・主体性」(DP1)と教育方法・学修過程

より優れた見方・考え方の獲得を目指して学び続け、自立性と自律性を持って主体的に研究を行うことができるよう、大学院生一人一人の理解度等を考慮した、きめ細かい個別の研究指導を行う。

(2) 「知識・理解」(DP2)、「技能・表現」(DP4)と教育方法・学修過程

仏教学・日本史学・日本文学に関する高度な専門的知識を体系的に修得するための科目とともに、各領域における研究の現状や課題の正確な把握を目指した科目や、高度な専門性を必要とする職業に従事するための能力を身につけるための科目を開講する。研究遂行の基礎となる文献・資料を読解するために必要な語学能力と、研究成果を発信するために必要なレベルの語学能力を身につけるための科目を開講する。他者の思いや考えを正確に理解するとともに、自らの思いや考えを的確に表現して意見を交わしたりすることができるようになるため、能動的な学修方法を取り入れることに努める。

(3) 「思考・判断」(DP3)、「態度・志向」(DP5)と教育方法・学修過程

仏教学・日本史学・日本文学のそれぞれの専門分野において、情報や知識を論理的に分析して表現したり、問題・課題を発見して、その解決に必要な情報を収集・分析したりできる思考力や判断力を身に付けるための演習科目を開講する。他者の立場や利益を慮る「利他の精神」を養成し、社会の一員としての意識を持って、高度な専門性を必要とする職業人として、社会のために積極的に関与し、社会に貢献することができるよう研究指導を行う。専門家としての強い責任感と倫理性をもって研究を遂行できるよう研究指導を行う。

社会福祉学研究科

社会福祉学研究科は、修了認定・学位授与に関する方針を到達目標とする教育課程を編成する。教育課程における教育内容については、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習などを適切に組み合わせた授業を開講する。社会福祉学研究科における教育方法・学修過程については、以下のように定める。

(1) 「自立・自律・主体性」(DP1)と教育方法・学修過程

より優れた見方・考え方の獲得を目指して学び続け、自立性と自律性を持って主体的に研究を行うことができるよう、大学院生一人一人の理解度等を考慮

した、きめ細かい個別の研究指導を行う。

- (2) 「知識・理解」(DP 2)、「技能・表現」(DP 4)と教育方法・学修過程
社会福祉学及び臨床心理学のそれぞれの専門分野に関する高度な専門的知識を体系的に修得するための科目とともに、各領域における研究の現状や課題の正確な把握を目指した科目や、高度な専門性を必要とする職業に従事するための能力を身につけるための科目を開講する。研究遂行の基礎となる文献・資料を読解するために必要な語学能力と、研究成果を発信するために必要なレベルの語学能力を身につけるための科目を開講する。他者の思いや考えを正確に理解するとともに、自らの思いや考えを的確に表現して意見を交わしたりすることができるようになるため、能動的な学修方法を取り入れることに努める。
- (3) 「思考・判断」(DP 3)、「態度・志向」(DP 5)と教育方法・学修過程
社会福祉学及び臨床心理学のそれぞれの専門分野において、情報や知識を論理的に分析して表現したり、問題・課題を発見して、その解決に必要な情報を収集・分析したりできる思考力や判断力を身に付けるための演習科目を開講する。他者の立場や利益を慮る「利他の精神」を養成し、社会の一員としての意識を持って、高度な専門性を必要とする職業人として、社会のために積極的に関与し、社会に貢献することができるよう研究指導を行う。専門家としての責任感と倫理性をもって研究を遂行できるよう研究指導を行う。

〈修士課程〉文学研究科仏教学専攻

仏教学専攻は、修了認定・学位授与に関する方針を到達目標とする教育課程を編成する。教育課程における教育内容については、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習などを適切に組み合わせた授業を開講する。仏教学専攻における教育方法・学修過程については、以下のように定める。

- (1) 「自立・自律・主体性」(DP 1)と教育方法・学修過程
より優れた見方・考え方の獲得を目指して学び続け、自立性と自律性を持って主体的に研究を行うことができるよう、大学院生一人一人の理解度等を考慮した、きめ細かい個別の研究指導を行う。
- (2) 「知識・理解」(DP 2)、「技能・表現」(DP 4)と教育方法・学修過程
臨済禅を中心とした仏教に関する高度な専門的知識を体系的に修得するための科目とともに、研究の現状や課題の正確な把握を目指した科目や、高度な専門性を必要とする職業に従事するための能力を身につけるための科目を開

講する。研究遂行の基礎となる文献・資料を読解するために必要な語学能力と、研究成果を発信するために必要なレベルの語学能力を身につけるための科目を開講する。他者の思いや考えを正確に理解するとともに、自らの思いや考えを的確に表現して意見を交わしたりすることができるようになるため、能動的な学修方法を取り入れることに努める。

- (3) 「思考・判断」(DP3)、「態度・志向」(DP5)と教育方法・学修過程
- 臨済禅を中心とした仏教に関する情報や知識を論理的に分析して表現したり、問題・課題を発見して、その解決に必要な情報を収集・分析したりできる思考力や判断力を身に付けるための演習科目を開講する。他者の立場や利益を慮る「利他の精神」を養成し、社会の一員としての意識を持って、高度な専門性を必要とする職業人として、社会のために積極的に関与し、社会に貢献することができるよう研究指導を行う。専門家としての強い責任感と倫理性をもって研究を遂行できるよう研究指導を行う。

〈修士課程〉文学研究科日本史学専攻

日本史学専攻は、修了認定・学位授与に関する方針を到達目標とする教育課程を編成する。教育課程における教育内容については、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習などを適切に組み合わせた授業を開講する。日本史学専攻における教育方法・学修過程については、以下のように定める。

- (1) 「自立・自律・主体性」(DP1)と教育方法・学修過程
- より優れた見方・考え方の獲得を目指して学び続け、自立性と自律性を持って主体的に研究を行うことができるよう、大学院生一人一人の理解度等を考慮した、きめ細かい個別の研究指導を行う。
- (2) 「知識・理解」(DP2)、「技能・表現」(DP4)と教育方法・学修過程
- 日本史学の各専門領域における高度な専門的知識を体系的に修得するための科目とともに、研究の現状や課題の正確な把握を目指した科目や、高度な専門性を必要とする職業に従事するための能力を身につけるための科目を開講する。研究遂行の基礎となる文献・資料を読解するために必要な語学能力と、研究成果を発信するために必要なレベルの語学能力を身につけるための科目を開講する。他者の思いや考えを正確に理解するとともに、自らの思いや考えを的確に表現して意見を交わしたりすることができるようになるため、能動的な学修方法を取り入れることに努める。

(3) 「思考・判断」(DP3)、「態度・志向」(DP5)と教育方法・学修過程

日本史学の各専門領域における情報や知識を論理的に分析して表現したり、問題・課題を発見して、その解決に必要な情報を収集・分析したりできる思考力や判断力を身に付けるための演習科目を開講する。他者の立場や利益を慮る「利他の精神」を養成し、社会の一員としての意識を持って、高度な専門性を必要とする職業人として、社会のために積極的に関与し、社会に貢献することができるよう研究指導を行う。専門家としての強い責任感と倫理性をもって研究を遂行できるよう研究指導を行う。

〈修士課程〉文学研究科日本文学専攻

日本文学専攻は、修了認定・学位授与に関する方針を到達目標とする教育課程を編成する。教育課程における教育内容については、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習などを適切に組み合わせた授業を開講する。日本文学専攻における教育方法・学修過程については、以下のように定める。

(1) 「自立・自律・主体性」(DP1)と教育方法・学修過程

より優れた見方・考え方の獲得を目指して学び続け、自立性と自律性を持って主体的に研究を行うことができるよう、大学院生一人一人の理解度等を考慮した、きめ細かい個別の研究指導を行う。

(2) 「知識・理解」(DP2)、「技能・表現」(DP4)と教育方法・学修過程

日本の文学・言語学・言語文化に関する高度な専門的知識を体系的に修得するための科目とともに、研究の現状や課題の正確な把握を目指した科目や、高度な専門性を必要とする職業に従事するための能力を身につけるための科目を開講する。研究遂行の基礎となる文献・資料を読解するために必要な語学能力と、研究成果を発信するために必要なレベルの語学能力を身につけるための科目を開講する。他者の思いや考えを正確に理解するとともに、自らの思いや考えを的確に表現して意見を交わしたりすることができるようになるため、能動的な学修方法を取り入れることに努める。

(3) 「思考・判断」(DP3)、「態度・志向」(DP5)と教育方法・学修過程

日本の文学・言語学・言語文化に関する情報や知識を論理的に分析して表現したり、問題・課題を発見して、その解決に必要な情報を収集・分析したりできる思考力や判断力を身に付けるための演習科目を開講する。他者の立場や利益を慮る「利他の精神」を養成し、社会の一員としての意識を持って、高度な専門性を必要とする職業人として、社会のために積極的に関与し、社会に貢献

することができるよう研究指導を行う。専門家としての強い責任感と倫理性をもって研究を遂行できるよう研究指導を行う。

〈修士課程〉社会福祉学研究科社会福祉学専攻

社会福祉学専攻は、修了認定・学位授与に関する方針を到達目標とする教育課程を編成する。教育課程における教育内容については、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習などを適切に組み合わせた授業を開講する。社会福祉学専攻における教育方法・学修過程については、以下のように定める。

(1) 「自立・自律・主体性」(DP1) と教育方法・学修過程

より優れた見方・考え方の獲得を目指して学び続け、自立性と自律性を持って主体的に研究を行うことができるよう、大学院生一人一人の理解度等を考慮した、きめ細かい個別の研究指導を行う。

(2) 「知識・理解」(DP2)、「技能・表現」(DP4) と教育方法・学修過程

社会福祉学及び臨床心理学のそれぞれの専門分野に関する高度な専門的知識を体系的に修得するための科目とともに、各領域における研究の現状や課題の正確な把握を目指した科目や、高度な専門性を必要とする職業に従事するための能力を身につけるための科目を開講する。研究遂行の基礎となる文献・資料を読解するために必要な語学能力と、研究成果を発信するために必要なレベルの語学能力を身につけるための科目を開講する。他者の思いや考えを正確に理解するとともに、自らの思いや考えを的確に表現して意見を交わしたりすることができるようになるため、能動的な学修方法を取り入れることに努める。

(3) 「思考・判断」(DP3)、「態度・志向」(DP5) と教育方法・学修過程

社会福祉学及び臨床心理学のそれぞれの専門分野において、情報や知識を論理的に分析して表現したり、問題・課題を発見して、その解決に必要な情報を収集・分析したりできる思考力や判断力を身に付けるための演習科目を開講する。他者の立場や利益を慮る「利他の精神」を養成し、社会の一員としての意識を持って、高度な専門性を必要とする職業人として、社会のために積極的に関与し、社会に貢献することができるよう研究指導を行う。専門家としての責任感と倫理性をもって研究を遂行できるよう研究指導を行う。

〈博士後期課程〉文学研究科仏教学専攻

仏教学専攻は、修了認定・学位授与に関する方針を到達目標とする教育課程を編成する。教育課程における教育内容については、必要とされる科目を体系的に編成し、講義・演習・実習などを適切に組み合わせた授業を開講する。仏教学専攻における教育方法・学修過程については、以下のように定める。

(1) 「自立・自律・主体性」(DP1) と教育方法・学修過程

より優れた見方・考え方の獲得を目指して学び続け、自立性と自律性を持って主体的に研究を行うことができるよう、大学院生一人一人の理解度等を考慮した、きめ細かい個別の研究指導を行う。

(2) 「知識・理解」(DP2)、「技能・表現」(DP4) と教育方法・学修過程

臨済禅を中心とした仏教に関する高度な専門的知識を体系的に修得するための科目とともに、研究の現状や課題の正確な把握を目指した科目や、高度な専門性を必要とする指導的な高度専門職業人としての職業に従事するための能力を身につけるための科目を開講する。研究遂行の基礎となる文献・資料を読解するために必要な高度な語学能力と、研究成果を発信するための高度な語学能力を身につけるための科目を開講する。専門的研究者として自立できる研究能力を身につけるための研究指導を行う。

(3) 「思考・判断」(DP3)、「態度・志向」(DP5) と教育方法・学修過程

臨済禅を中心とした仏教に関する情報や知識を論理的に分析して表現したり、問題・課題を発見して、その解決に必要な情報を収集・分析したりできる高度な思考力や判断力を身に付けるための演習科目を開講する。他者の立場や利益を慮る「利他の精神」を養成し、社会の一員としての意識を持って、高度な専門性を必要とする職業人として、社会のために積極的に関与し、社会に貢献することができるよう研究指導を行う。専門家としての強い責任感と倫理性をもって研究を遂行できるよう研究指導を行う。